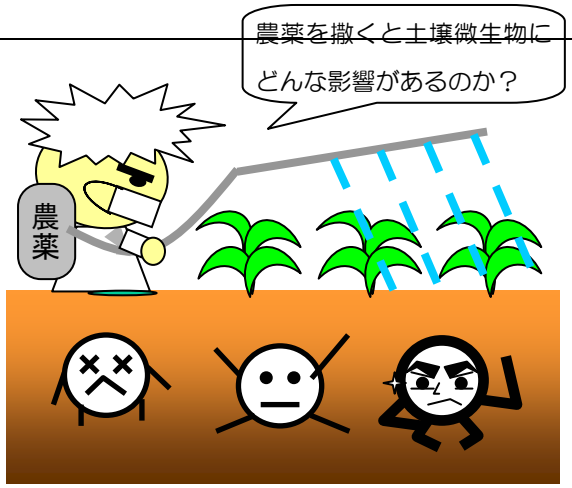
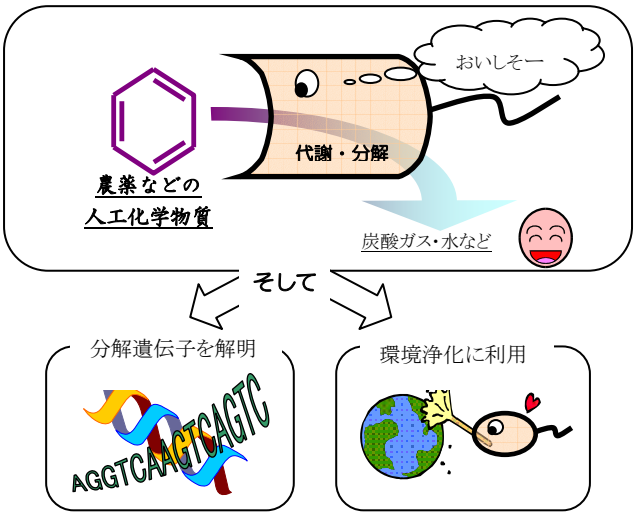
フリガナ	スヤマ　コウスケ		学部　学科など	生物資源科学部 生態環境科学科
氏　　名	**巣山　弘介**		職　　名	准教授
			講　座など	環境生物学講座
専門分野	・環境微生物学 ・農薬環境科学	その特徴	化学物質の環境挙動，微生物による分解，生態系に及ぼす影響など幅広い研究テーマに取り組んでいます。	
研究テーマ	主な研究テーマは下の 2 点に集約できます。 １）『河川水、土壌などの環境中の微生物に及ぼす各種資材の影響・効果の評価』 ２）『微生物による各種資材の分解』 資材としては、例えば農薬、生分解性プラスチックなどを対象にしています。	その特徴	第 41 次南極観測隊に参加して以来、南極の土壌微生物に関する研究も行っています。 例えば、 （1）南極昭和基地周辺における土壌微生物の現状 （2）昭和基地周辺の土壌環境に及ぼす人間活動の影響の監視と評価 などが、現在の研究テーマです。	
可能な共同研究・地域連携	・テーマ・項目：各種分野における微生物利用・各種資材が微生物に及ぼす影響や効果 ・要望事項：特に、環境分野や農業分野における微生物関連テーマに興味があります。			
可能な科学技術相談	・項目：製品化，技術具体化，教育普及など多方面にわたって，相談に応じます。			
キーワード	微生物，有機物分解，農薬，生態影響，南極，生分解性プラスチック			

＊　研究のポイント

よく「農薬をまくと土や川が死ぬ」と言われますが、本当にそうなのでしょうか？　単に「思い込み」ではないのでしょうか？　また、生分解性プラスチックなどの「環境にやさしい」と言われている素材が土壌微生物に何らかの悪影響を与えていないのでしょうか？　私たちは、**に住む微生物土や川の中におよぼす各種資材の影響を科学的に評価するための研究を行なっています。**





微生物の中には天然の有機物だけではなく、農薬などの人工化学物質も分解して栄養にしてしまうものがいます。私たちはそのような**微生物を土の中から探し出して、機能や遺伝子を解明すること**によって、その能力をどうやって獲得したのか？　また、どのように進化してきたのかを明らかにしようとしています。さらに、そのような**微生物の能力を利用して、化学物質で汚染された環境を浄化**できるかもしれません。